

# 赤潮発生状況について

西岡智哉・斎浦耕二・平野 匠

平成25年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

*Chaetoceros*属を中心とした珪藻が優占したことから、有害種の増殖の機会が得られなかったためと推察される。

## 方法

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種、及び漁業被害についてまとめた。

## 結果及び考察

表1に平成25年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。平成25年は前年より2件多い4件の発生がみられた。3月上旬から4月上旬にかけて、鳴門市里浦町～阿南市中林町沿岸において珪藻の*Eucampia zodiacus*が高密度化し、ワカメやノリの色落ちが発生した。また、8月下旬から9月上旬には、鳴門市大毛島東岸から美波町日和佐港までの広い範囲にわたり、渦鞭毛藻の*Gonyaulax polygramma*による海面の着色がみられた。平成25年は夏季において*Chattonella*属等の有害種が高密度化することはなかった。これは、夏季の降雨が少なく、陸からの栄養塩供給が乏しかったことや、

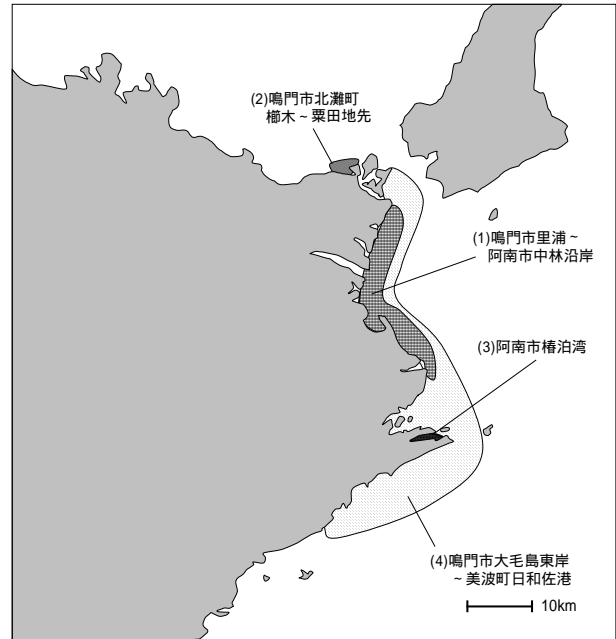


図2．赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1．平成25年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/mL)
(1)	3/6～4/2	28	鳴門市里浦～阿南市中林沿岸	<i>Eucampia zodiacus</i>	有	514
(2)	6/13～6/16	4	鳴門市北灘町榎木～粟田地先	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明
(3)	8/2～8/5	4	阿南市椿泊湾	<i>Myrionecta rubra</i>	無	9,000
(4)	8/21～9/9	20	鳴門市大毛島東岸～美波町日和佐港	<i>Gonyaulax polygramma</i>	無	70,000

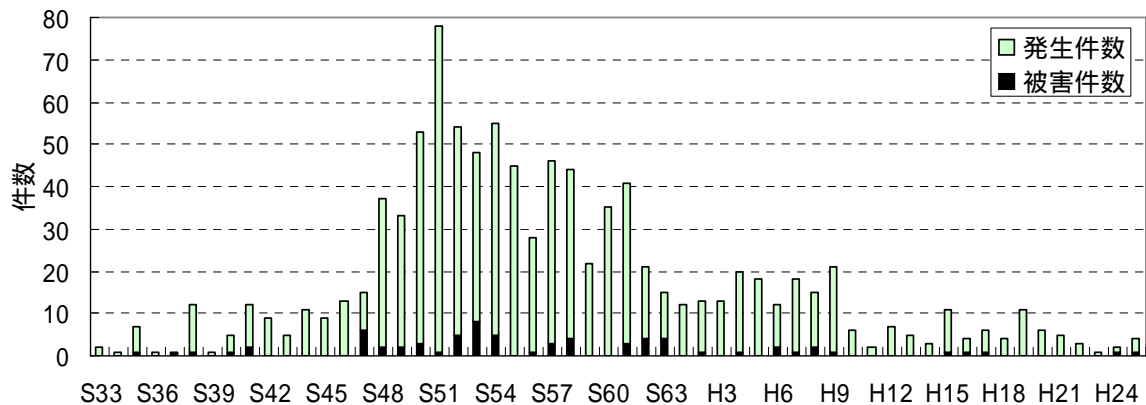


図1．赤潮の発生件数と被害件数の推移